

北本市公共施設等総合管理計画の 改訂について

(第1～2章 概要版)

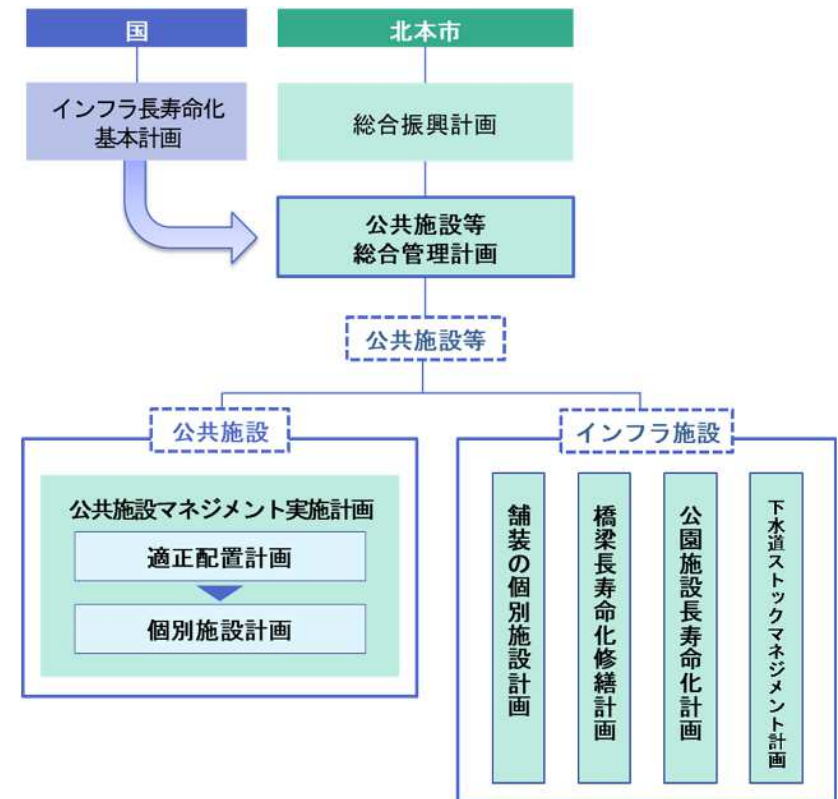
令和8年5月29日

1 公共施設等総合管理計画について

(1) はじめに

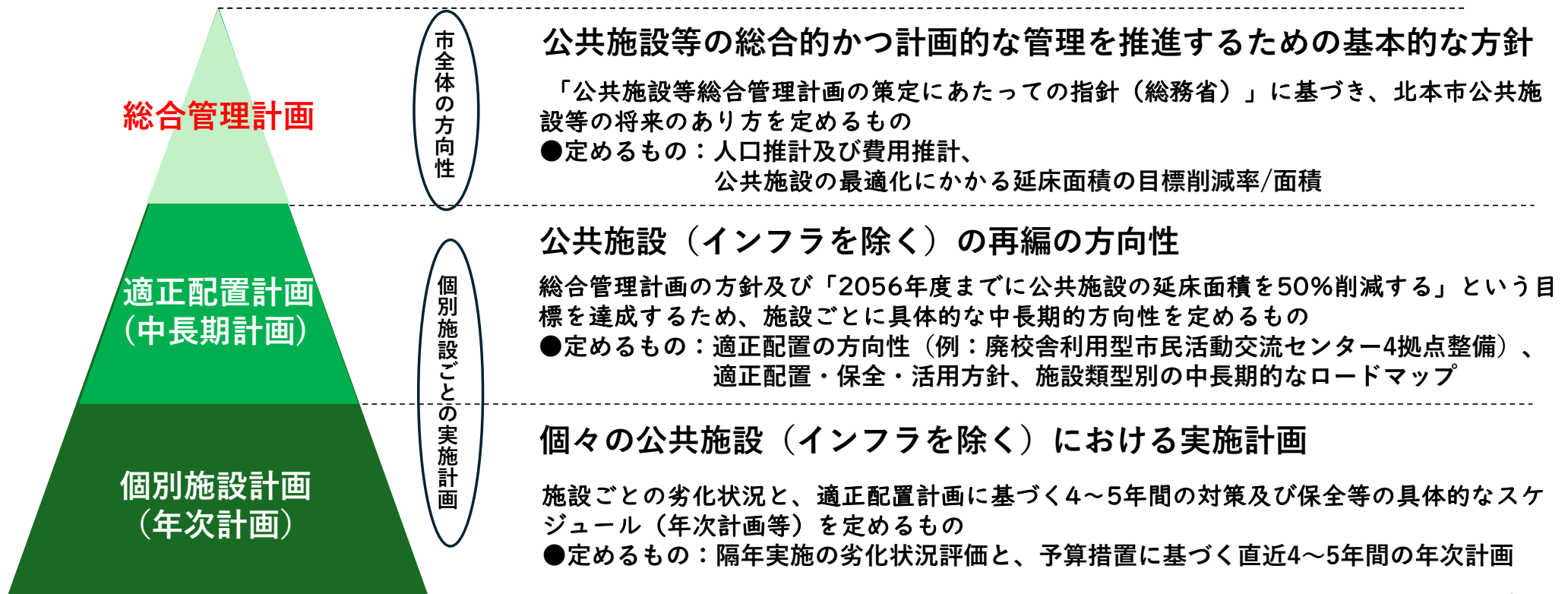


- 2014年4月に総務省より、「公共施設等総合管理計画の策定にあたっての指針」が示され、すべての公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するための計画を策定することが求められたことから、基本的な方針を示す「北本市公共施設等総合管理計画」を2017年3月に策定しました。
- 各公共施設の施設再編の中長期的な方向性を示す「適正配置計画」と、対策及び保全等に係る直近5年程度の短期的なスケジュールを示す「個別施設計画」について、内容を整理しつつ反映しています。また、インフラ施設についてもそれぞれ個別施設計画を策定しています。



I 公共施設等総合管理計画について

- 総合管理計画は、北本市の最上位計画である第六次北本市総合振興計画実現のため、各種個別計画と連携を図りながら、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するための基本的な方針を定めるものです。



I 公共施設等総合管理計画について

- 総合管理計画は、総務省が示す「公共施設等総合管理計画の策定にあたっての指針」に基づき、下記の項目について定めるものです。

1. 市内公共施設等の現況及び将来の見通し
 - ・ 人口についての今後の見通し
 - ・ 施設保有量及び老朽化の状況
 - ・ 公共施設等の経費について
 - ・ 現状や課題に関する基本認識及び目標の設定
2. 公共施設等の管理に関する総合的な実施方針
 - ・ 維持管理に関する基本的な実施方針
 - ・ 推進体制

I 公共施設等総合管理計画について

【章の再構成（案）】

各章の題名から記載内容の把握がしやすくなるよう、計画書の構成を刷新します。

現行（2022年改訂版）	改訂案
第1章 はじめに 1.1 本計画策定の背景と目的 1.2 計画の位置付け 1.3 対象施設	第1章 はじめに 1.1 本計画策定の背景と目的 1.2 計画の位置付け 1.3 計画期間 1.4 対象施設
第2章 本市の現状と将来の見通し 2.1 人口の状況 2.2 財政状況 2.3 公共施設等の現状 2.4 将来費用の試算	第2章 本市の現状と課題 2.1 人口の状況 2.2 財政状況 2.3 公共施設等の現状 2.4 現状や課題に対する基本認識

I 公共施設等総合管理計画について

【章の再構成（案）続き】

現行（2022年改訂版）	改訂案
第3章 公共施設等の総合的な管理に関する基本的な方針	第3章 公共施設等の更新費用等の試算（仮）
3.1 計画期間	3.1 公共施設等の将来費用の試算
3.2 現状や課題に対する基本認識	3.1.1 自然体の見込み（仮）
3.3 課題解決のための方策	3.1.2 各個別施設計画等の取組を実施した場合（仮）
3.4 各個別施設計画等の取組を実施した場合の将来費用の試算	3.2 各個別施設計画等の対策の効果の検証
3.5 各個別施設計画等の対策の効果の検証	
3.6 公共施設等の総合的な管理に関する基本的な方針	
3.7 目標の設定	
3.8 基本的な方針を推進するための実施方針	
3.9 全庁的な取組体制の構築及び情報管理・共有方策	
3.10 PDCAサイクルの推進方針	

I 公共施設等総合管理計画について

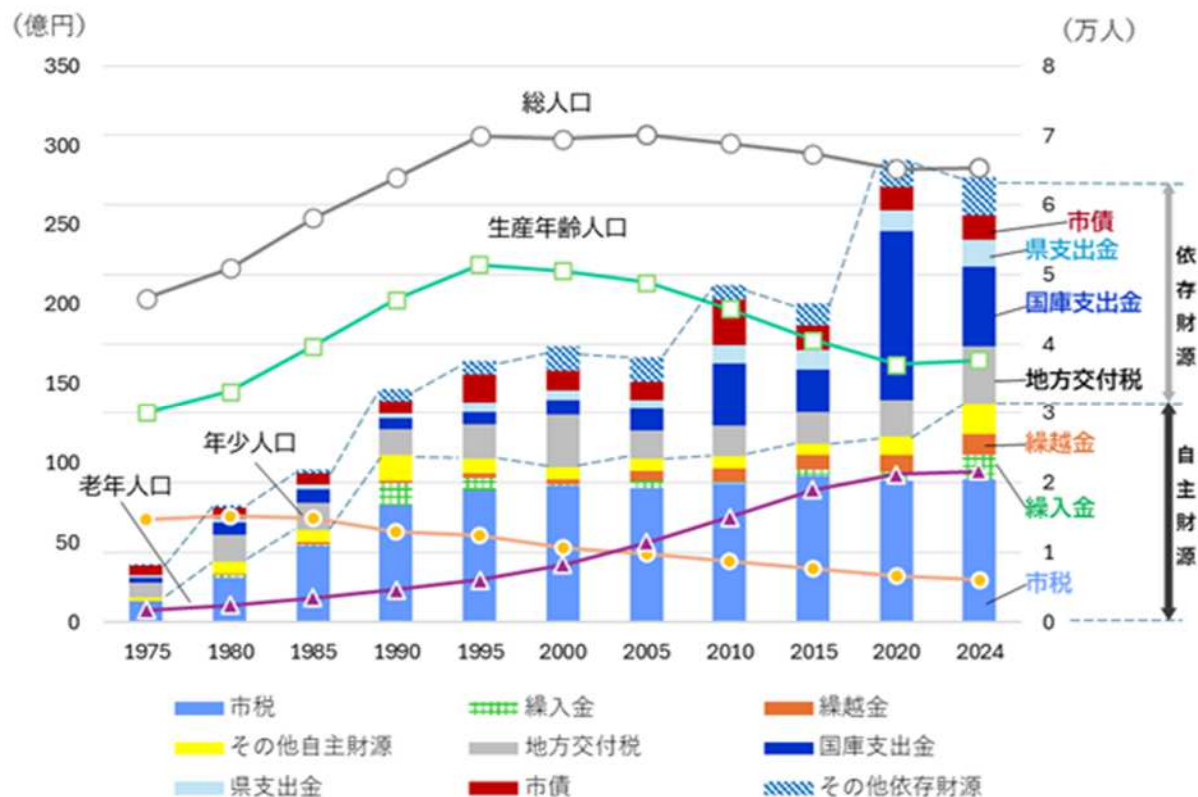
【章の再構成（案） 続き】

現行（2022年改訂版）	改訂案
第4章 施設類型ごとの管理に関する基本的な方針 4.1 公共施設の管理に関する基本方針 4.2 インフラ施設の管理に関する基本方針	第4章 公共施設等の総合的な管理に関する基本的な方針 4.1 公共施設等の総合的な管理に関する基本的な方針 4.1.1 公共施設の管理に関する実施方針 4.1.2 インフラ施設の管理に関する実施方針
	第5章 施設類型ごとの管理に関する基本的な方針 5.1 公共施設の管理に関する基本方針 5.2 インフラ施設の管理に関する基本方針
	第6章 推進体制及び進行管理 6.1 全庁的な取組体制の構築及び情報管理・共有方策 6.2 PDCAサイクルの推進方針

2 本市の現状と課題 財政状況

(1)歳入決算額の推移（普通会計）

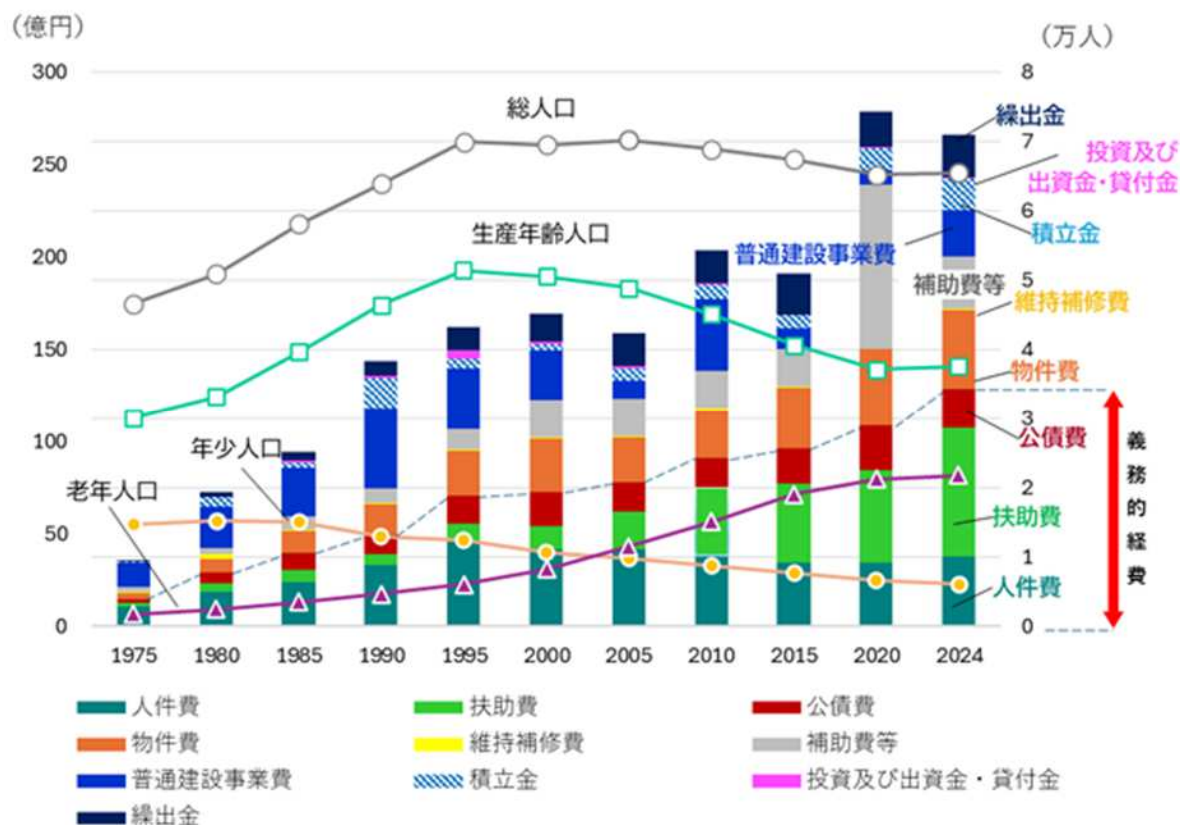
- 生産年齢人口が増加傾向にあった1995年度までは、市税及び決算総額も増加し続けています。
- 2010年度以降、市税収入が横ばい傾向となっている一方で、国庫支出金や地方交付税などの依存財源が増加しており、現在は市の財政のほぼ半分を依存財源が占めています。



2 本市の現状と課題 財政状況

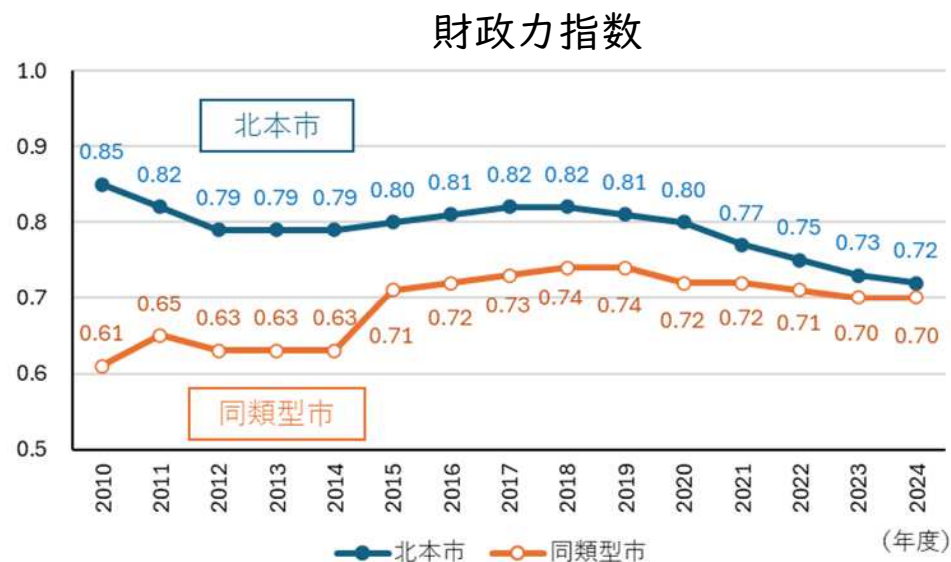
(2)歳出決算額の推移（普通会計）

- 歳入総額の増減に伴い、歳出も同様に推移しています。
- 2010年度から2014年度までに小中学校の大規模改修や庁舎建設を行ったことにより、2015年度以降、普通建設事業費及びその財源とした市債の償還のための公債費が増加しています。
- 義務的経費は年々増加し続けており、その主な要因は扶助費が著しく増加していることによるものです。



2 本市の現状と課題 財政状況

(3)財政力指数と経常収支比率



- 北本市の財政力指数は年々減少傾向にあり、かつては全国同類型市の中でも高い水準でしたが、現在では平均的な数値となっています。

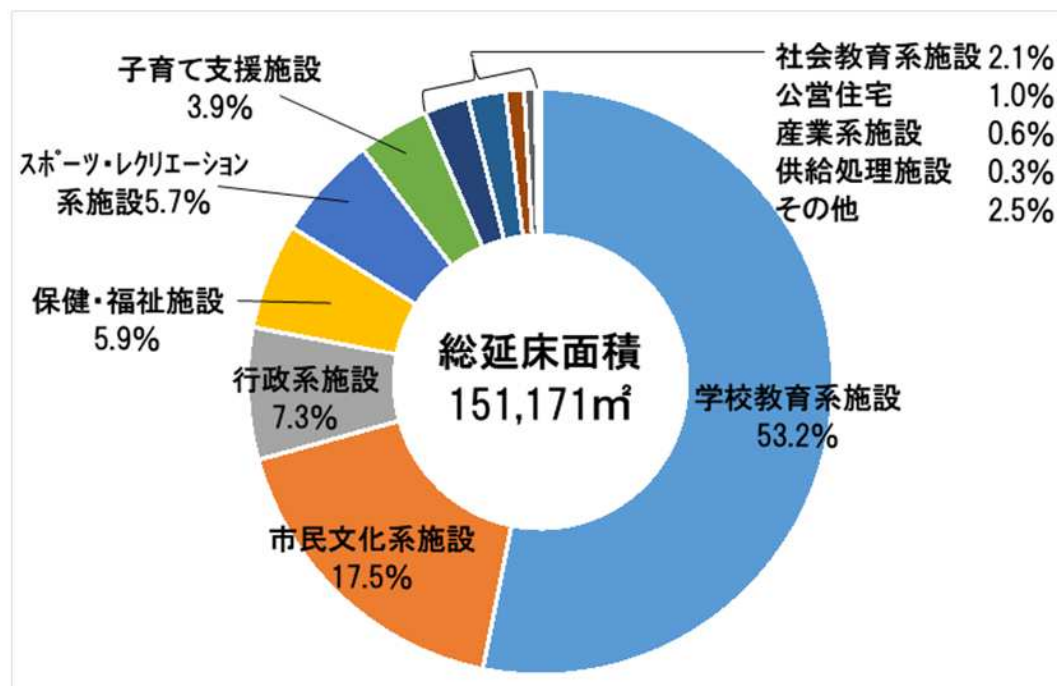


- 北本市の経常収支比率は全国同類型市と比較すると低い数値で推移していますが、近年は概ね90%を超えており、弾力性がある状況とは言えません。

2 本市の現状と課題 公共施設等の現状（ハコモノ）

(1) 公共施設の用途別延床面積

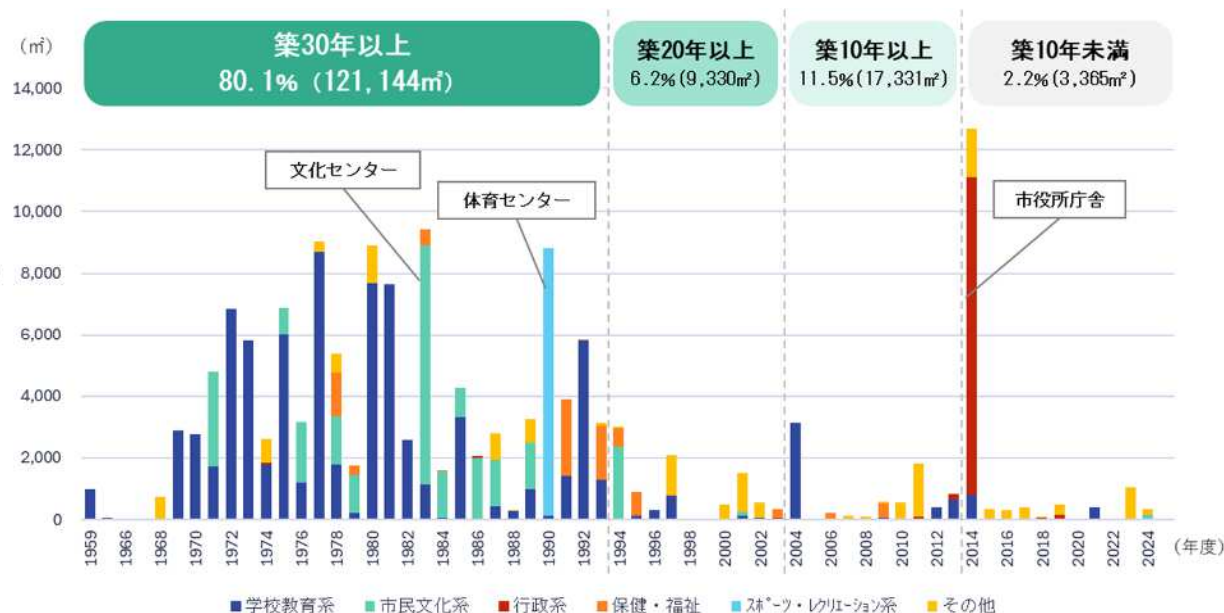
- 2024年度固定資産台帳より、学校教育系施設が全体の53.2%、次いで市民文化系施設17.5%となり、この2分類で全体の約7割を占めています。



2 本市の現状と課題 公共施設等の現状（ハコモノ）

(2)公共施設の築年度別整備状況（老朽化の状況）

- 1970年代～1990年代初頭の人口増加に伴い、市では公共施設を集中的に整備しており、大規模改修の目安となる築30年以上経過した公共施設は、全体の約8割を占め、早急な老朽化対策が必要な状況となっています。
- 老朽化が深刻な施設の大部分が学校や公民館です。



2 本市の現状と課題 公共施設等の現状（ハコモノ）

(3)耐震化の状況

- 「北本市住宅・建築物耐震改修促進計画」における居室を有する市有建築物の耐震化率は100%となっています。
- 今後は、居室を有しない、倉庫などの小規模な建物の耐震化が課題となります。

(単位：棟)

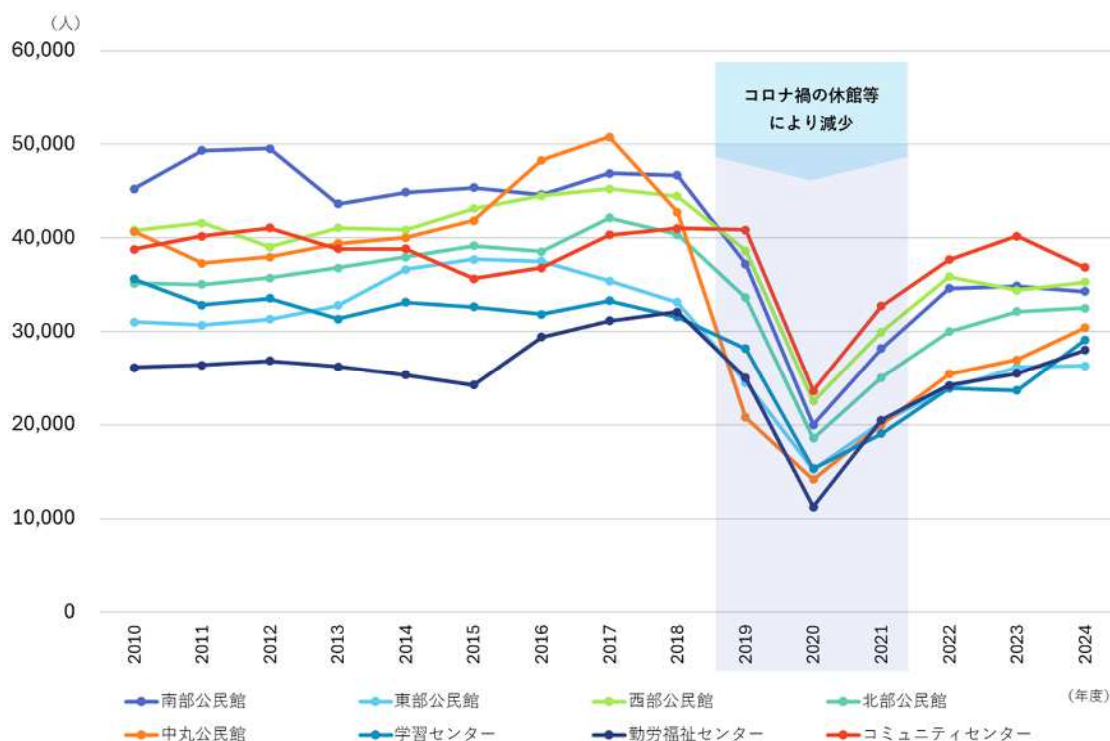
用途分類	昭和56年5月までの旧耐震基準の建築物		昭和56年6月以降の新耐震基準の建築物	計	耐震化率	
	耐震性なし	耐震性あり				
	a (=b+c)	b	c	d	e (=a+d)	f (=c+d)/e
学校	26	0	26	19	45	100.0%
病院・診療所	0	0	0	0	0	-
劇場・集会場等	5	0	5	9	14	100.0%
店舗等	0	0	0	0	0	-
ホテル・旅館等	0	0	0	0	0	-
賃貸共同住宅等	0	0	0	2	2	100.0%
社会福祉施設等	2	0	2	17	19	100.0%
消防庁舎	1	0	1	5	6	100.0%
その他一般庁舎	0	0	0	3	3	100.0%
その他	2	0	2	13	15	100.0%
合計	36	0	36	68	104	100.0%

※ 一部事務組合が所有する建築物は含みません。

2 本市の現状と課題 公共施設等の現状（ハコモノ）

(4)-1 市民文化系施設の利用状況

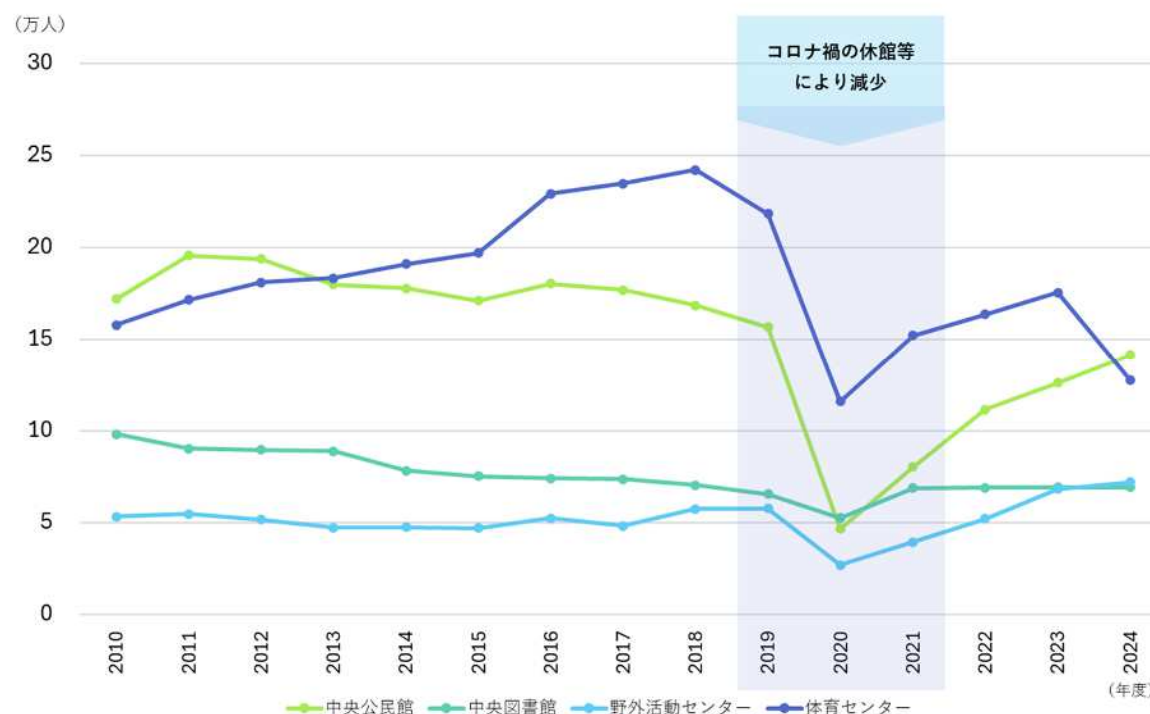
- 新型コロナウイルス感染拡大による休館や、緊急事態宣言による活動自粛などの影響により、2019年度から2021年度までは利用者数が減少しています。
- 2023年度以降は回復傾向ですが、ほとんどの施設でピーク時の利用者数には届いていません。



2 本市の現状と課題 公共施設等の現状（ハコモノ）

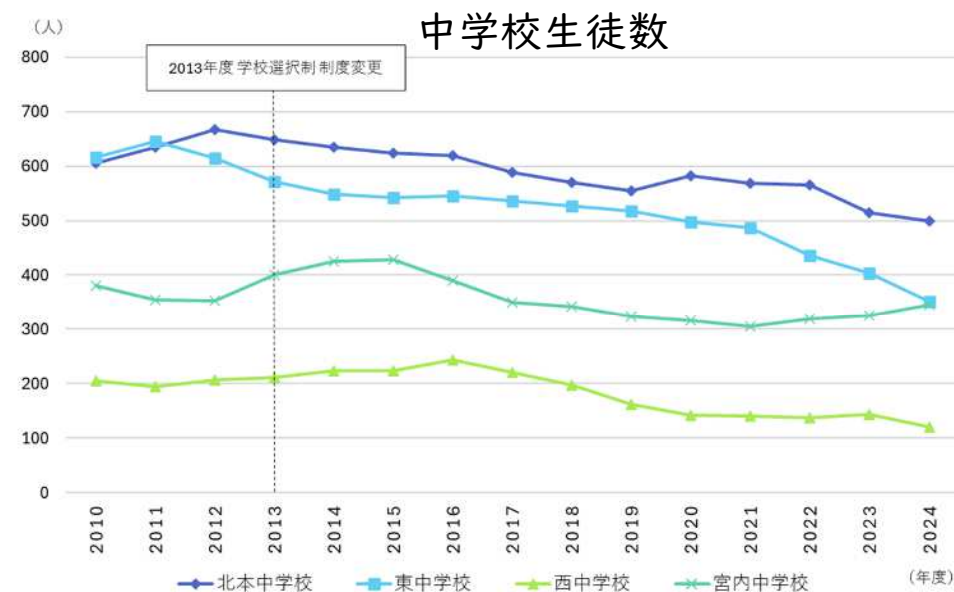
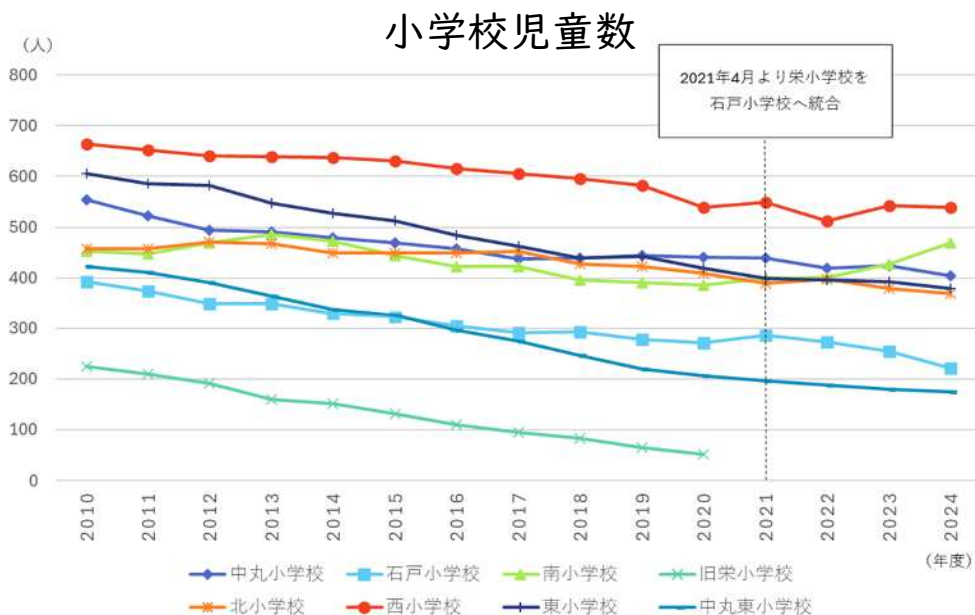
(4)-2 中央公民館、中央図書館、野外活動センター、 体育センターの利用状況

- 中央公民館及び中央図書館については、コロナ禍以降回復傾向ですが、ピーク時の利用者数には届いていません。
- 野外活動センターは、キャンプメニューの拡充によりやや増加傾向にあります。
- 体育センターは、2023年度まで回復傾向にありましたが、2024年度は休館を伴う大規模工事を実施したことにより、利用者数が減少しました。



2 本市の現状と課題 公共施設等の現状（ハコモノ）

(4)-3 学校教育系施設状況（学校別児童、生徒数の推移）



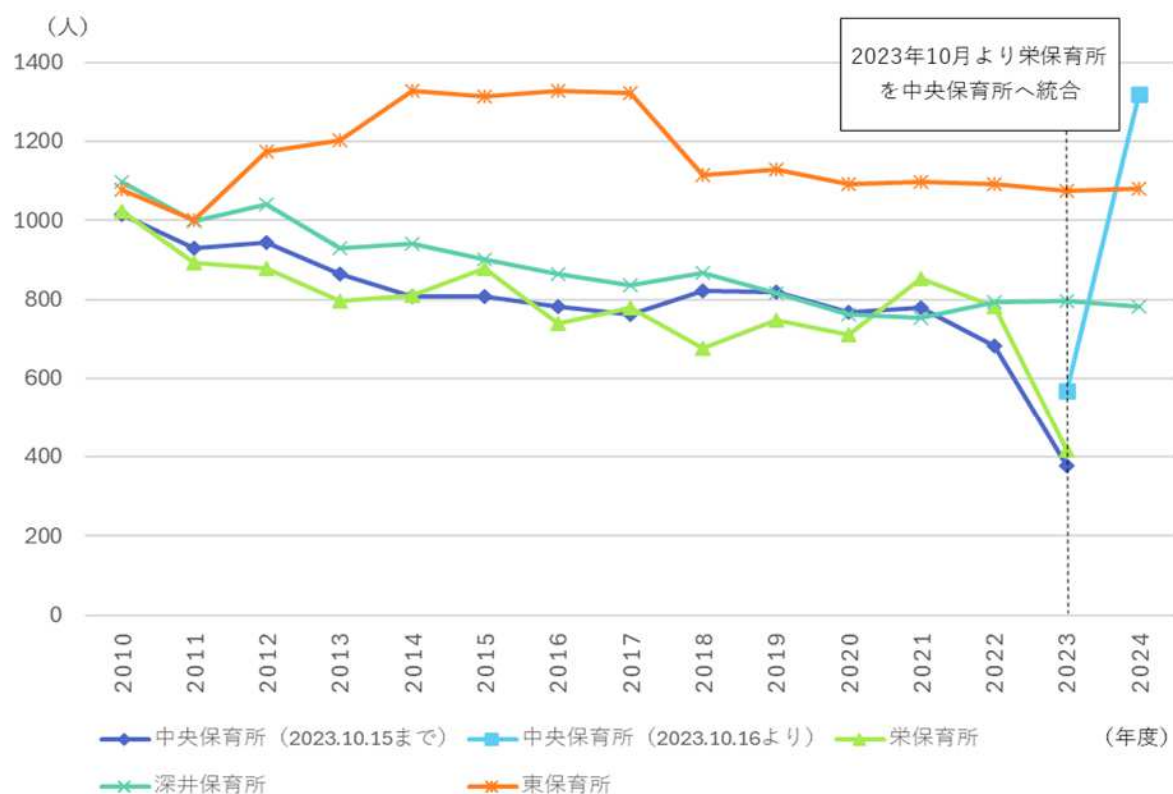
- 南小学校を除いて、全ての小学校において児童数は減少傾向となっています。
- 児童数全体では、2010年度の3,771人に対して、2024年度は2,524人と、15年間で約33%減少しています。

- 北本中学校及び宮内中学校はほぼ横ばいで推移していますが、東中学校及び西中学校は減少傾向です。
- 生徒数全体では、2010年度の1,808人に対して、2024年度は1,312人と、15年間で約27%減少しています。

2 本市の現状と課題 公共施設等の現状（ハコモノ）

(4)-4 子育て支援系施設状況（保育所）

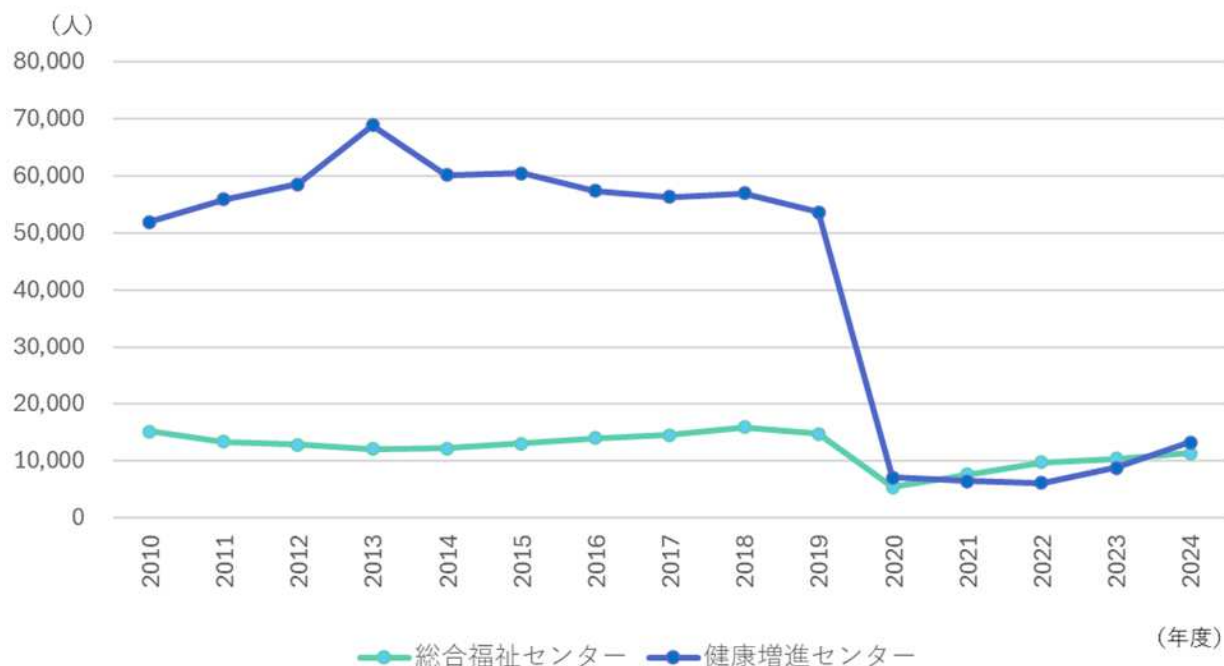
- 東保育所は2012年度に実施した建替え以降一時的に増加しましたが、全体としては減少傾向です。



2 本市の現状と課題 公共施設等の現状（ハコモノ）

(4)-5 保健・福祉施設状況（総合福祉センター、健康増進センター）

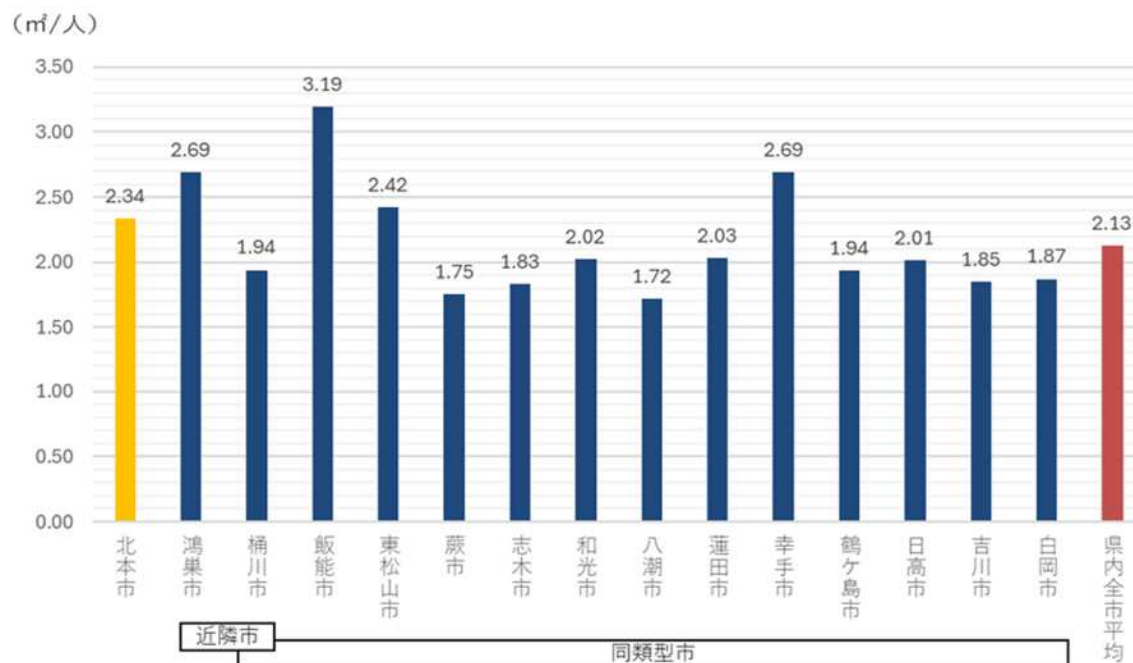
- 総合福祉センターの利用状況は、概ね横ばいで推移しています。
- 健康増進センターは、2020年度以降、新型コロナウイルス感染拡大に伴う休館等の影響と合わせて、2021年度の浴室使用終了以降は利用数が減少となったまま推移しています。



2 本市の現状と課題 公共施設等の現状（ハコモノ）

(5) 近隣市、同類型市との行政財産の延床面積比較

人口一人当たりの行政財産の延床面積



- 2024年度現在、埼玉県内の同類型市は北本を含めて14市です。
- 同類型市では4番目に大きく、県内全市の平均と比較しても大きくなっています。

2 本市の現状と課題 公共施設等の現状（インフラ）

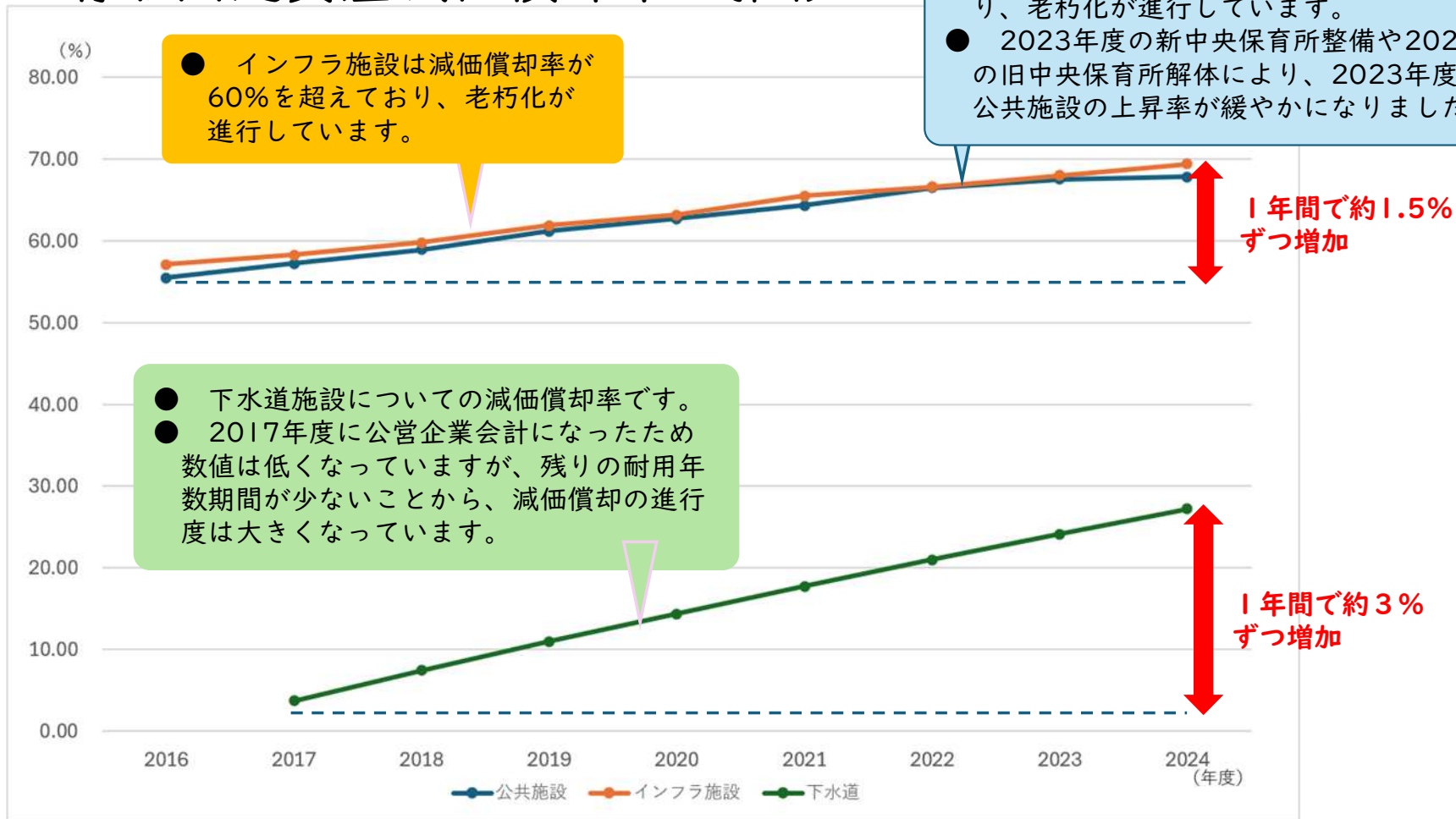
(6) インフラ施設の現状

- 2024年度末現在の保有量です。
- 現行計画における保有量と比較すると、橋りょう以外は新設等により、いずれも増加しています。

分類		箇所数等	面積等	
道路	市道	2,250路線	面積	1,713,119㎡
橋りょう		98本	面積	2,145㎡
公共下水道	管きよ	—	延長	188km
		—	延長	8km
	管きよ計	—	延長	196km
	ポンプ場	1箇所	面積	176㎡
公園・緑地	街区公園	88箇所	面積	79,416㎡
	近隣公園	8箇所	面積	205,003㎡
	都市緑地	4箇所	面積	34,517㎡
	総合公園	1箇所	面積	106,018㎡
	公園・緑地計	101箇所	面積	424,954㎡

2 本市の現状と課題 公共施設等の現状

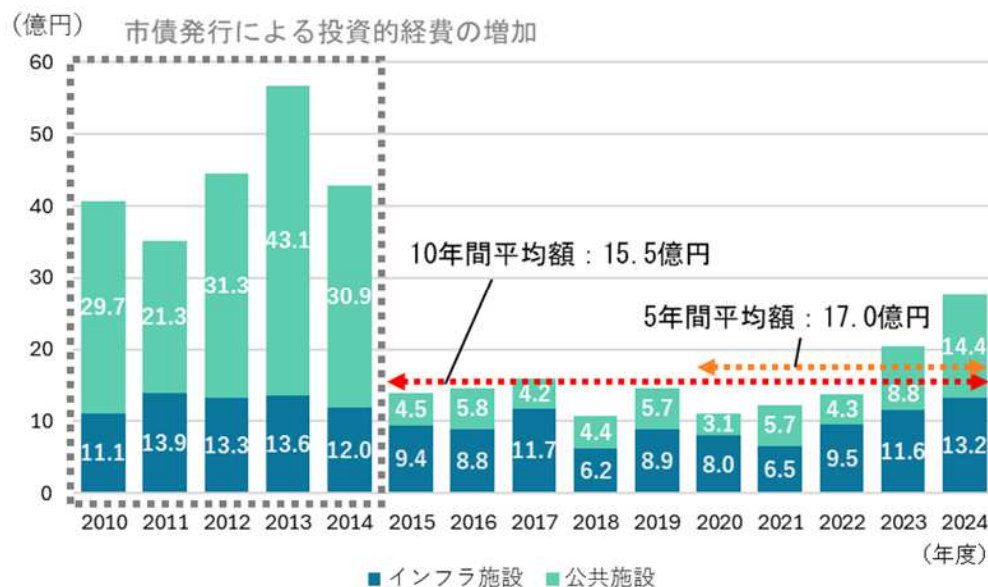
(7) 有形固定資産減価償却率の推移



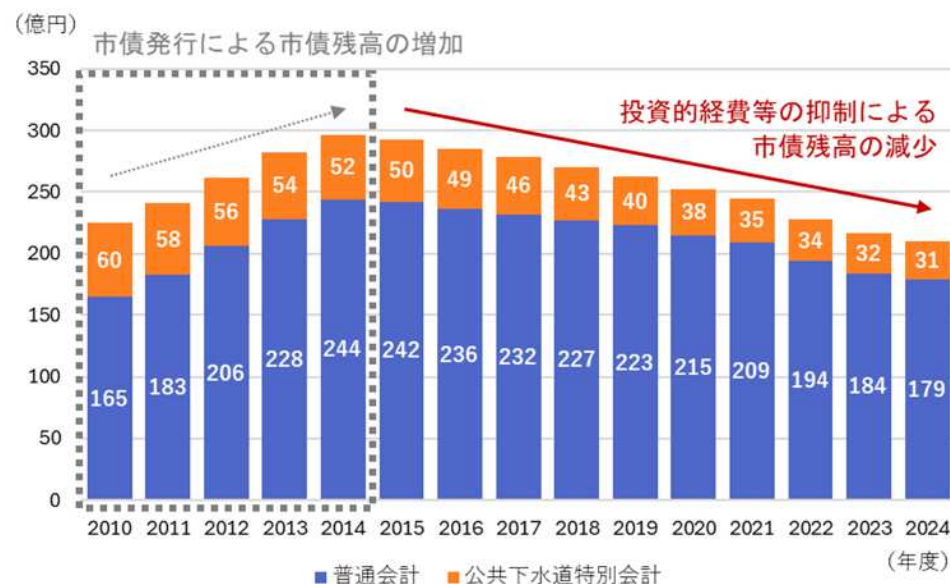
2 本市の現状と課題 公共施設等の現状

(8) 公共施設等に要した費用の推移

投資的経費の推移



市債残高の推移



- 2010年度から2014年度までの5年間は、庁舎の建替えや学校の耐震改修及び大規模改修を集中して行ったことにより投資的経費が増加しました。

- 投資的経費の増加により市債残高も増加しました。
- 市債の償還にかかる負担を抑えるため、2015年度以降は新たな投資的経費を控えています。